

2018年度 東北学院大学 世界史 解答速報(2月1日実施分)
全学部型(文・経済・法・教養学部の全学科・全コース)

1

問1 I→Ⅲ→Ⅱ→Ⅴ→Ⅳ

問2 モヘンジョ=ダロ、ハラッパー

問3 1 孔子 2 論語

問4 b、e

問5 1 カニシカ王 2 ガンダーラ美術

問6 イ、エ

2

(1)-13 (2)-20 (3)-4 (4)-6 (5)-1 (6)-9 (7)-11 (8)-18 (9)-5
(10)-7 (11)-22 (12)-25 (13)-12 (14)-14 (15)-19

3

問1 (1)-23 (2)-12 (3)-6 (4)-11 (5)-15 (6)-19 (7)-16 (8)-8
(9)-3 (10)-21 (11)-20 (12)-1 (13)-4 (14)-18 (15)-13

問2 a-正統 b-四国 c-七月 d-選挙 e-工場

講 評

1 インド及び中国の古代史。難易度はやや易。

問1 I→IV及びIII→II→Vと並べるのは容易。IとIIIでやや悩むかもしれないが、Iに「前2600年」と明記してある。

問4 aは前漢、cは東周、dは戦国時代の事柄である。

2 ヨーロッパ中世都市や大航海に関わる問題。難易度は易。

空欄補充であるが、語群が用意されているため、解答は容易。3と4はやや迷うが、4に「2(ヴェネツィア)のライバル」とあるため、ジェノヴァと確定でき、従って3も自動的に決まる。

3 ウィーン体制から七月革命まで。難易度は易。

空欄補充には語群が用意されており、ほぼ解答可能。

問1 6 南米植民地独立の指導者は「シモン＝ボリバル」では誤り。「アルゼンチンやチリの独立」に関係するのは、サン＝マルティンの方になる。

13と14にはどちらも社会主義者の名前が入る。語群にはオーウェンとルイ＝ブランしかない。従って14のフランスはルイ＝ブランと決まり、13も確定できる。

問2 いずれも平易である。bを「四国」とするか「五国」とするかで悩むかもしれない。四国同盟にフランスが加入して五国同盟となるのは1818年のことなので、問題文の神聖同盟と同年は四国同盟の方である。

【総評】

出題量や出題形式はほぼ昨年と同様。問われている語句もほとんどが教科書に記載されている平易なものであったため、しっかり勉強した受験生であれば、ほぼ正解できたと思われる。